

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600226		
法人名	社会福祉法人 歌垣福祉会		
事業所名	グループホーム うたがきの里		
所在地	佐賀県杵島郡白石町大字築切264番地1		
自己評価作成日	令和3年12月24日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和4年1月13日	外部評価確定日	令和4年2月1日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>田園に囲まれ、近くには小学校や保育園があり、環境に恵まれ、散歩時には小学生が声をかけてくれたり、散歩中の園児が立ち寄り一緒に歌ったりしています。また、利用者様に楽しんでいただけるよう外食・買い物・ドライブ(令和3年度はコロナ禍の影響で中止)や、季節行事には工夫を凝らしています。ウッドデッキでの外気浴や散歩による気分転換、レクリエーションや生活リハビリによる身体機能の維持にも努めています。晩秋になると、佐賀の名物でもあるバルーンが上空まで飛んで来る事があり、利用者様、職員は歓喜して手を振る光景も見られます。また、ホームの菜園で採れた野菜を美味しく頂かれ喜んでいただきました。ゆっくりとした雰囲気の中で、笑いの絶えないホームです。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>平成6年開設の2ユニットの事業所である。母体法人の運営理念である三愛(敬愛・親愛・友愛)を基にして、事業所独自で利用者中心の介護理念を作成し、実践している。「一人ひとりの思いに寄り添い」「利用者のペースに合わせ」「安心して生活できる環境づくり」は、職員の笑顔で優しい声かけと共に、利用者の「ありがとう」の声やおだやかな表情となって現れている。また、地域に開かれた事業所でもある。地域の美化作業に参加したり、近くの保育園や小学校との交流もある。地元中学生からのアルミ缶回収で得た利益金で、電動ベットの寄贈もあっている。お礼として、利用者による手縫い雑巾のお返しが計画されている。</p> <p>利用者の楽しみである食事は、ホームの台所で調理されている。家庭的な雰囲気の中で、利用者も一緒になって、調理の下ごしらえや準備を行っている。好みの湯茶を何時でも飲めるように置いてみたり、広いウッドデッキでの食事やお茶の時間も楽しみの一つである。新型コロナウイルス感染防止のために、家族や知人の訪問、外食や思い出のある場所までの外出等に制限がある中で、それらに代わるものを、職員の智恵で工夫している事業所である。</p>
---

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I. 理念に基づく運営</b>							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝朝礼時に基本理念と各ユニット内の介護理念の唱和を行い実践している。	毎朝朝礼時に基本理念、各棟の介護理念を唱和し、実践に繋がっている。	法人の基本理念をふまえて、ユニット毎に具体的な介護理念を話し合い、職員間で共有している。年度始めには 理念の再確認をしている。理念を唱和することは、利用者主体支援の意識づけの基にもなっている。また、管理者は、日常の支援の中での適切な助言で、理念の実践を図っている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルスの流行により規制され、本来は近隣の保育園・小学校との交流を図り、避難訓練では地元消防団や地域協力員の参加を得て合同で行っているが、現状として交流は出来ていない。地区のクリーンデイには職員が参加している。	地区のクリーンデイへの参加や、従来は保育園、小学校の運動会への参加、見学をさせて頂いていたが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止となっている。また、地域の方と挨拶などを通して、地域との交流に心掛けている。	地域に開かれた事業所を目指してきたが、新型コロナウイルス感染防止のために、これまでのような付き合いは薄れている。しかし、地域の一員としての事業所の立ち位置は十分に意識している。動物セラピーや花祭りの甘茶を届けてもらったお礼に手紙を出したり、地元中学生からアルミ缶収集の収益金で寄贈してもらった電動ベットのお礼に、手縫いの雑巾のお返しを計画している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	新型コロナウイルスの流行により規制され、交流出来ず活かしていない。	新型コロナウイルス感染予防の為、交流は出来ず活かしていない。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	新型コロナウイルスの流行によ り規制され、会議が開催出来 ず、資料配布にて報告を行っ た。ただ、意見の集約までは出 来ていない。	新型コロナウイルス感染予防の 為、2ヶ月毎の会議は中止して おり、ホーム内での活動報告は 資料配布を行っている。	年6回の開催であるが、現在は、 感染防止のために、資料送付に よる開催になっている。資料は、 映像(写真)を豊富に使い、利用 者の日常の暮らしや行事内容が 理解できる。これまでは、地域と の具体的な情報交換、地域と一 体になった災害時の避難対策、 夜間想定避難訓練を昼間に 実施することへの疑問等、その 他多様な意見が交換され、極め て有意義な会議になっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取り組みを 積極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	運営推進委員会に市町村担当 者が参加してもらえるように願 いしているが、新型コロナウイルス の防止対策で開催出来ず、資 料配布にて実情を伝えている。 ただ、新型コロナウイルスワク チン接種等における相談連絡は、 電話にて行った。	運営推進委員会に市町村担当 者が参加してもらえるように願 いしているが、新型コロナウイルス 感染防止の為、開催出来ず、 資料配布にて実情を伝えている。 ただ、新型コロナウイルスワ クチン接種等における相談連絡 は、電話にて行った。	運営推進会議時だけでなく、管 理者が直接行政の担当部署に 出向いたり、電話で連絡を取り 合うことも多い。マイナンバーの 件、ワクチン接種に関する具体 的な相談、助成金関係、生活保 護に関連すること、大雨時の避 難場所や迅速な避難体制の情 報など、様々な事例があり、行政 との連携はとれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着 型サービス指定基準及び指定地域密着型 介護予防サービス指定基準における禁止 の対象となる具体的な行為」を正しく理解し ており、玄関の施錠を含めて身体拘束をし ないケアに取り組んでいる	外部での研修会の参加は、新型 コロナウイルス感染症予防の為 行えず、職員会議でのケア会議 において身体拘束しないケアに ついて話し合いを行っている。	玄関の施錠をはじめ、身体拘束 をしないケアに取り組んでいる。 身体拘束について資料での勉強 会を職員会議で行い、職員へ周 知徹底している。	身体拘束の無い介護、支援を実 践している。計画的な勉強会で、 具体的な身体拘束のない支援に ついて研修している。家族から、 止むを得ない場合に使用するセ ンサーマット、人感センサーの承 諾も得ている。玄関の施錠もな く、スタッフの目と耳で利用者の 外出希望を察知し、一緒に連れ 添っての外出であり、利用者 に閉塞感はない。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議の中で、研修会(実践者研修)参加者の報告や、研修会を通して職員の意識付けを行った。	職員会議にて、実践者研修参加の職員より資料や報告を通じて周知徹底している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者の中に生活保護受給者の方がおられ、福祉サービス利用援助事業を利用されており、本人様と関係機関との話し合いを支援している。	権利擁護に関する制度についての学びの機会はなかったが、今後学ぶ機会を設ける必要がある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時の契約や改定時は、書面等にて十分説明し、理解・納得を得られるように努めている。	契約や改定時は書面をもって説明し、理解と納得を得られるように努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナ禍の中、家族様の面会も制限され、家族様と接する機会が少なくなっているが、モニタリング時や電話等で機会を設け、ご意見・ご要望を伺い、また、利用者様においては、日常の会話から得た情報をケース会議等で話し合い、サービス提供に反映させている。	新型コロナウイルス感染予防の為、家族様との面会の制限もあり、来所の機会も少なくなったが、モニタリング時や近況報告等を電話で行う際、ご意見やご要望を伺いながらサービスに反映させている。また利用者様の会話をケース会議等で話し合う場を設けている。	今回の外部評価にあたっての家族や利用者のアンケートでも、家族の困っていること、不安、求めていることについて、常時、運営に反映させている日頃の姿勢が伺われる。アンケートの改善してほしい点、気になる点も、貴重な意見として、早速、運営に反映させる意向である。ご意見箱の設置、利用者からの聴き取りによるアンケートの実施、家族会から意見等を伺う等の運営もある。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼時や職員会議、日常業務の中において、意見や気付きの場を設け、運営の反映に努めている。	朝礼時や職員会議、ケース会議、日常業務中においても意見や気付きをその場で出し合い、運営に反映するように努めている。	定例の職員会議時だけでなく、日常の業務の合間や朝礼等で、多くの意見や気付きが出され、運営に反映されている。 郷土色豊かな献立やバイキング形式の食事、利用者毎のアルバム作成と置き場所の検討、ヒヤリハットへの即時対応、午睡の時間を利用した居間やトイレ等の換気、面会制限がある中での家族との面会機会の工夫等たくさん例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回、チャレンジシートによる各自の目標設定を行い、目標達成度並びに自己評価に対して評価を行っている。労務規定により随時、労働環境整備に努めている。	年2回、チャレンジシートによる各自の目標設定を行い、達成度及び自己評価に対しての評価を行っている。労働環境については、労働規程により随時整備されている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人として職員の資質向上について事業計画に掲げており、施設内外の研修への参加や資格取得の推進を行い、特別休暇扱いなどで取りやすい機会を設けている。	事業所として職員の資質向上は必須であり、事業計画に掲げており、施設内外の研修への参加や資格取得の推進を行い、特別休暇扱いなどで取りやすい機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍の影響を受け、グループホームによる地域連携協議会主催の研修会や町内の医療福祉連携研修などの参加が出来ず、交流を通じたサービスの質の向上は未達成だった。	コロナ禍の影響を受け、グループホームによる地域連携協議会主催の研修会や町内の医療福祉連携研修などの参加が出来ず、交流を通じたサービスの質の向上は出来ていない。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( )	自己評価／ユニットB( )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、家族様や担当ケアマネジャー等より基本情報を参考にし、本人様との良好な関係を築きながら、要望や不安事を傾聴し不安軽減に努めている。	入居前に、担当ケアマネジャーや家族様に聞き取り調査をし、利用者様本人が困っていること、不安なこと、要望等に出来るだけ添えるような関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に施設見学をして頂き、家族様の思いや要望を聞き取り会話をしながら信頼関係が築けるように努めている。	入居前に施設見学をして頂き、家族様の思いや要望を聞き取り会話をしながら信頼関係が築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネジャーや関連する事業所からの情報をベースに、本人様や家族様の要望に応えられる支援を見つけるように努めている。	担当ケアマネジャーや以前の事業所からの情報に基づき、本人様や家族様の要望に応えられる支援を見つけるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人様の出来る部分の発掘をし、日常生活の中で職員と共に取り組む事の機会を作り、良好な関係が出来るように努めている。	利用者様の残存機能を活かしながら共に生活を営む者として、良好な関係性を築くよう心掛けている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍の中、家族様の面会にも制限を設け、外出に関しては原則病院受診以外は中止としている状況であるが、不穏時どうしも職員では対応出来ない場合、電話による協力やリモート面会等で協力をして頂き、本人様と家族様の絆を大事にして共に支え合う関係に努めている。	コロナ禍の中、家族様の面会にも制限を設け、外出に関しては原則病院受診以外は中止としている状況であるが、不穏時どうしも職員では対応出来ない場合、電話による協力やリモート面会等で協力をして頂き、本人様と家族様の絆を大事にして共に支え合う関係に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の中、外出規制もあり、なかなかなじみの場所への支援は難しくなっているが、リモート面会や手紙、プレゼントといった形で馴染みの人との関係の継続を絶たないように支援に努めている。	コロナ禍の中、外出規制もあり、なかなかなじみの場所への支援は難しくなっているが、リモート面会や手紙、プレゼントといった形で馴染みの人との関係の継続を絶たないように支援に努めている。	これまで、一時帰宅をお願いしたり、散歩時や、デイサービス訪問で顔見知りの方と挨拶や会話を交わしたり、知人の訪問を支援するなど関係継続に努めていた。現在は外出制限もあるが、リモート面会や面会の予約、馴染みの郷土料理を一緒に作るなど、これまでの家庭生活の続きであるようにと、意識した支援を工夫している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様一人ひとりの過ごされ方を把握し、利用者様同士が良好な関係で過ごせるようにレクリエーションや行事といったものを通じて支援に努めている。	利用者様一人ひとりの過ごされ方を把握し、利用者様同士が良好な関係で過ごせるようにレクリエーションや行事といったものを通じて支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了された方の関わりは、特に相談や支援といった形はなく、近況報告や挨拶する程度で終わっている。	サービス利用が終了された方の関わりは、特に相談や支援といった形はなく、近況報告や挨拶をする程度で終わっている。		

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の意向に沿うように、日々の関わりの中で、さり気ない会話や仕草から把握し、また、困難な場合は家族や職員で検討し利用者様本位の支援に努めている。	利用者様の思いや意向を受け止め、出来るだけ意向に沿えるような支援を行っている。	利用者の心に寄り添い、日々の関わりの中で、会話やつぶやき、表情や行動の変化を敏感に受け止め、心情に思いを馳せている。本人にとっての最適な暮らし方を家族と相談することも多い。	
----	-----	---	--	---	--	--

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の家族様からの聞き取りや担当ケアマネジャーや他事業所から情報把握に努めている。	入居前の情報を家族様からの聞き取りや担当ケアマネジャーからの情報提供を共有し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様一人ひとりの能力、体調に合わせ無理なく過ごせるようケース会議等で話し合い現状把握に努めている。	利用者様一人ひとりの残存機能、体調に合わせ、無理なく過ごせるサービスの提供についてケース会議、モニタリング時に話し合いを行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様の状況・状態を常に把握し、その人に合ったケアが出来るように家族様とのモニタリング時の意向等をケース会議に反映させ介護計画の作成に努めている。	利用者様の状態、状況を把握し本人に合ったケアについて、家族様の面会時やモニタリング時に意向を伺っている。また職員間でケアを検討し、利用者様にとって、より良い介護計画の作成に努めている。	利用者や家族の暮らしに対する意向に沿い、利用者がその人らしく暮らし続けるために、利用者主体の介護計画が作成されている。生活全般のニーズに対する目標や、支援内容も具体的で実現可能なものである。担当者会議には家族も参加し、全職員が関わりあった計画である。利用者の状況の変化や実情により、計画の変更も柔軟に実施されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録等により情報共有を行い、実践に努め、気づき、見直し等がある場合は話し合い、介護計画の見直しに活かしている。	介護記録等で情報共有に努めながら実践を行い、気づきがあれば話し合い、介護計画の見直しに反映させている。		



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様、家族様の会話から得た情報や家族様の状態変化に応じて、必要な支援サービスにも、柔軟な対応で取り組んでいる。	利用者様、家族様の状況、状態の変化に応じて必要な支援やサービスの提供を心掛け、取り組んでいる。コロナ禍において特に家族様と会う機会が少なくなっている為、家族様には定期的に写真を送り、また、家族様からの電話での会話を楽しまれている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナウイルスまん延防止の為、面会・外出に関して制限しており、ボランティアの受け入れや近隣学校との交流も出来ず、地域資源との協働は不十分である。	新型コロナウイルス感染防止の為、面会・外出に関して制限しており、ボランティアの受け入れや地域との交流も出来ず、地域資源との協働は不十分である。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との受診継続の為、家族様へ付き添いをお願いしているが、近隣医院には職員が同行し、検査結果を家族様へ報告している。また、利用者様の状況に応じて、訪問診療も受けられている。	かかりつけ医との受診継続の為、家族様が付き添いで受診されており、近隣医院には職員が同行して受診を行い、来所時に検査結果等を報告している。緊急受診、入院等は家族様をお願いしている。また利用者様の状態に応じて、訪問診療も受けられている。	利用者や家族の希望する医療機関での受診である。協力医療機関とは、何時でも受診や相談ができる関係にある。定期的な健康診断も行われている。また、これまでの主治医の訪問診察もある。訪問歯科医から口腔ケア等について専門的な助言をもらい、その後の支援に活かしている。家族も健康面について安心感を持っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の体調変化の気づきを相談でき、急変時の助言や医療的支援がある。また、病院看護師と連携を取りながら適切な受診に繋げている。	利用者様の体調変化の気づきを相談でき、急変時の助言や医療的支援がある。また、病院看護師と連携を取りながら適切な受診に繋げている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時の情報交換や入院中の状態把握について、コロナ禍対応の中、病院関係者との情報交換を行い、退院後の支援に役立っている。	入退院時の情報交換や入院中の状態把握について、コロナ禍対応の中、病院関係者との情報交換を行い、退院後の支援に役立っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に関しては契約時に説明を行い、ホームでの対応困難時は家族様に伝え、状態に応じて職員、家族様主治医を交えて話し合いを行っている。	重度化や終末期に関しては契約時に説明を行い、ホームでの対応困難時は家族様に伝え、状態に応じて職員、家族様主治医を交えて話し合いを行っている。	入居にあたって、病状の急変が生じた場合や夜間における緊急時の対応等について、事業所としてとり得る措置について、納得のいく話し合いが行われている。緊急搬送についての家族の承諾も得ている。これまでに看取り介護に近い事例はあるが、これからは延命治療を望まない家族や最期をホームでと希望する利用者や家族も考えられ、それに備えての検討も行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時における対応は出来ているが、定期的な応急手当や初期対応の訓練はできておらず、AEDの扱いや実践に向けての研修・勉強会が必要である。	急変や事故発生時における対応は出来ているが、定期的な応急手当や初期対応の訓練は出来ておらず、AEDの扱いや実践に向けての研修・勉強会が必要である。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時に向けてのマニュアル作成、避難訓練計画に挙げて実行しているが、コロナ禍の影響にて地元消防団や消防署、近隣協力員との合同訓練は中止している状況である。また、夜間訓練についても、日中に夜間想定した訓練に留まっている。	災害時に向けてのマニュアル作成、避難訓練計画に挙げて実行しているが、コロナ禍の影響にて、地元消防団や消防署、近隣協力員との合同訓練は中止している状況である。また、夜間訓練についても、日中に夜間想定した訓練に留まっている。今期の水害では避難する必要はなかったが、対応すべきことは把握できた。	消防計画により、年に2回の夜間の火災発生を想定した避難訓練、通報訓練、初期消火訓練が行われている。消防署の指導も受けている。これまでは地域との協力を得ての訓練が行われており、地元消防団には、居室等の配置や利用者の身体的な状況、消火栓の位置等も把握してもらっている。事業所の立地条件上、大雨災害に備えてハザードマップや地域の避難計画を確認している。	台風や地震等の自然災害時の長期停電に備えての非常食や飲料水の確保、ランプ等の事前準備はできているが、なお、大水時の避難場所への退避に伴う地域との協力体制等の検討すべき余地はないのか、再考を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	朝礼時に唱和している基本理念の三愛に基づき人権を尊重し、誇りやプライバシーに配慮した声掛けに努めている。ただ、突発的な危険行為や暴言に対して感情的になることもあり、反省する場面も見られる。	基本理念の三愛に基づき人権を尊重し誇りやプライバシーに配慮した声掛けに努めている。ただ、突発的な危険行為や暴言に対して感情的になるという現状がある。	利用者がこれまでの人生を通してのいただいている誇りや、人格、人権を尊重することを、すべての支援の基礎にしている。優しい笑顔や穏やかな話しかけ、諸々の支援、介護計画にもそれが現れている。家族もすごくそれを感じている。 安全面への配慮のあまり、つい、声高になった場合でも、その場で直ちに冷静に戻って反省したり、管理者からの適切な助言があっている。 秘密保持、個人情報の確保もきちんと行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様との関わりの中で洋服選びや飲み物選択、レクリエーションへの参加などの自己決定が出来る機会を作り、本人の意思に添う支援に努めている。	利用者様と一緒に洋服選びや飲み物洗濯、レクリエーションへの参加等の自己決定が出来る機会を作り、本人の意思に添う支援に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人その人に合ったペースで支援に心掛けているが、どうしても集団生活の中で希望に添えない場面もある。	朝が苦手な方にはその人のペースでゆっくりと遅めの食事の提供をするなど、出来るだけその人に合った支援の提供を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時の着替え準備において、自分で用意されたり、朝の洗顔時での洗顔フォームを用意し、自分で整容される方の手伝いを行い、整髪についても家族様の支援により、美容室に行かれる方もいる。又、訪問散髪を利用され自分の好みにカットされる方もいる。	毎朝の整容と入浴時においては好みの服を選んで頂くなどの支援を提供している。定期的な訪問散髪の提供も実施している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	時に調理の下ごしらえやつぎ分け等のお手伝いをして頂き、献立の説明や食べやすい食事形態の工夫を行い、又、季節感のあるメニュー作りの為、その時節の果物を取り入れ、楽しみを持てるようにしている。他、職員も一緒に同席し家庭的な雰囲気づくりを行っている。	職員と一緒に台所に立ち、簡単な調理の手伝いやつぎ分け等の手伝いをして頂き、食事は新鮮な食材を使用し、時には利用者様の好みの食事を献立に取り入れてもらい、提供している。	高齢者向きの薄味でも美味しい食事が提供されている。ホームの台所で調理され、調理の香りやまな板、包丁の音などが、利用者の食事に対する楽しみを増している、献立は管理栄養士の資格がある職員が、利用者の嗜好を取り入れて作成している。誕生日を祝う献立もある。健康面を考えて、盛り付けを工夫したり、おかわりの希望に対応している。職員も一緒に同じ食事を摂りながら、それとない支援に気を配っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様に合わせて食事量や形態を考慮して提供している。水分も好みの飲み物で水分補給回数が増えるよう工夫して、水分不足にならないように努めている。	利用者様其々に合わせた食事量や食事形態を工夫して提供している。また水分補給の制限のある方、不足している方に対しては個々に講じた提供を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの声掛けを行い、出来ない方の介助を行っている。特に義歯装着される方の義歯洗浄は細目に行い、又、義歯消毒については、訪問歯科の先生の助言により毎食後にポリドントを使用し、実施している。	毎食後に口腔ケアの声掛けを行い、介助の必要な方には職員が行い、義歯使用の方には毎日義歯洗浄を実施している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用して排泄パターンを把握し、早めの誘導にて汚染回数削減に努めている。又、さりげない声掛けにて排泄チェックを行い、必要時には清拭対応している。	利用者様、一人ひとり排泄パターンを把握し、早めの誘導にて汚染回数削減に努めている。声掛けにて排泄チェックを行っている。	家族からの情報、それとない観察、排泄チェック表等で一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握している。さりげなく、早めに声をかけての支援である。夜間にトイレの心配が無く、良く眠れるようにと希望する方には、大きめのパットを使用して、安心感に導いている。自立出来ている利用者の見守りも出来ている。排泄だけでなく、排便支援にも特に配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を把握し、水分補給や乳製品、繊維質の多い食事の提供、歩行運動、腹部マッサージ施工など便秘予防に努め、長時間続く場合は主治医への相談を行なっている。	排便チェック表にて排便状況を把握し便秘予防の為、乳製品提供や水分補給を充実し、レクリエーションの場で体操を取り入れている。長期間に及ぶ時は医師への相談も行っている。	/	
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は基本的に週3回となっているが、体調や希望によっては、隣ユニットでの入浴は可能である。時間帯は午前午後と利用者様に合わせて対応している。夜間の使用については勤務体制上困難である。又、特に順番等決めず本人様の状態・希望に合わせて対応している。	入浴日は基本的に週3回となっているが、体調や希望によっては、隣ユニットでの入浴は可能である。時間帯は午前午後と利用者様に合わせて対応している。特に順番等決めず本人様の状態・希望に合わせて対応している。	利用者の入浴希望や体調にそった支援である。基本的には一日おきの入浴日であるが、希望する利用者は毎日でも入浴できる。入浴をおっくうがる方には、入浴を無理強いすることは無く、気持ちを汲み取っての支援である。入浴中に換気を兼ねて浴室の窓を開けて、露天風呂気分を味わったり、季節の菖蒲湯や柚子湯もある。冬場は特にヒートショックにも留意した支援である。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温調整や寝具調整に気を配り安心して休んで頂けるように支援している。不穩になられる方には傾聴し入眠出来るように支援している。	室温調整や寝具調整に配慮し安心して休んで頂けるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報提供書により副作用を把握し、症状には注意して医師へ報告している。また、職員間での情報共有のため報連相ノートを活用している。	薬剤情報提供書により効能、副作用を把握し、症状には注意して医師へ報告している。また、職員間での情報共有のため報連相ノートを活用している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯干し、洗濯物たため、調理の下ごしらえ等行う役割がある事が自信への繋がり、職員と一緒に出来る事で気分転換の支援をしている。本来であるならばドライブ・買い物等の外出支援を通して気分転換に繋げるが、コロナ禍の中、外出支援が中止となっている。	洗濯物干し畳み、簡単な調理の手伝い等行う役割がある事が自信へ繋がり、職員と一緒に出来る事で気分転換の支援をしている。従来はドライブ・買い物等の外出支援を通して気分転換に繋げるが、コロナ禍にて外出支援が中止となっている。		
49 (18)		○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルス感染症予防対策として外出支援は見合わせており、支援出来ない。玄関先やウッドデッキでの外気浴のみ行った。	新型コロナウイルス感染症予防対策として外出支援は控えている。玄関先やウッドデッキでの外気浴、ホーム周辺の散策は実施した。	広い敷地内や、人と接しないホーム周辺を散歩している。暖かい日差しを浴びながら、玄関先での日光浴やウッドデッキでの外気浴での気分転換によって、五感の刺激を感じている。ウッドデッキから、散歩中の園児の姿を目にすることもあり、お気に入りの場所でもある。これまでは、近くのお地藏様にお詣りしたり、食材の買い物と一緒に出かけることも多かった。また、家族や協力員のドライブや外食も行っていたが、感染防止のために、今は見合わせている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いとして家族より担当職員が預かり、日用品の購入や医療費の支払いに当てている。本来希望があれば職員が同行し、買い物に行くこともあるが、コロナ禍の為その買い物に行くことは現時点では控えている。	お小遣いとして家族様より預かり、日用品や医療費等の支払いを担当職員が行っている。従来は希望の品を職員同行で買い物するなどの支援をしていたが、コロナ禍において控えている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者、家族様の要望があれば電話を掛けたりその都度対応している。	利用者様、家族様の要望に応じて電話のやり取りをその都度対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた作品や飾りを掲示して雰囲気作りに努めている。また、ソファや椅子の配置にも気を配りくつろげる環境づくりをしている。	利用者様と一緒に作成した季節に応じた作品などを掲示している。またホーム内は、新型コロナウイルスを含め感染症予防の為、空気の入替え(換気)を行うと同時に、空気清浄機設置を行っている。	居間は明るく、静かで外からの雑音も聞こえず、無用な刺激も無い。室温や湿度にも留意し、加湿器も作動している。利用者の習字作品や、利用者が共同で制作した季節のちぎり絵(今月は七福神)が掲示してあり、玄関のプランターと共に、今の季節を感じさせる。どの共有空間や居室も清掃が行き届き、清潔感がある。利用者は、居心地よい居間で思い思いにゆっくりと過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様が気の合う方と会話出来るように声掛けや席の移動をお願いしたりしている。	居室やホールを利用者様本位で過ごして頂き、気の合う方との会話出来るように配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の使い慣れた物や家族の写真など持参して頂き飾ったり、自分で作成された作品など置かれ、中には仏壇を持参されている方もおられ、自宅におられるような雰囲気作りに努めている。	入居前に利用者様本人が使い慣れた物の持ち込みをお願いをし、居室内には家族様とのゆかりの物などを飾り、自宅で過ごされているように工夫している。	各居室とも、利用者がゆっくりと安心して暮らせる場所になっている。利用者や家族と相談しながらの居室環境づくりである。夜具、手鏡、時計、小テーブル、その他使い慣れた馴染みの物が見られる。仏壇を置かれている方もある。家族写真や誕生日祝いの色紙等もあり、利用者の日頃の暮らしぶりやその方らしさを思わせる居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口やホールの自席や椅子に名前を分かり易くしている。また、トイレには直ぐに分かるように貼紙をし、使い方なども中の方に掲示している。	手摺り伝いの歩行可能な方には見守りながら移動できるように邪魔になる物を置かないようにし、安心して生活できる環境作りを行っている。		



V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない